



ミニ企画展

「ウチナー鉄道マンの履歴書」

を開催しました

6月28日(水)から7月17日(月)まで、ミニ企画展「ウチナー鉄道マンの履歴書」を開催しました。

今回のテーマは、戦前に与那原駅長を務めた知念松盛氏です。知念氏は在職当時の辞令書等を戦後も大切に保管しており、2016年(平成28)にご家族より町へ寄贈されました。今回の展示会では、寄贈された知念氏資料27点のうち12点、そして同僚の鉄道マンである富名腰氏資料4点、島袋氏資料(複製)2点を展示しました。展示内容をまとめたパンフも作成しました。(展示終了後も配布中)

今回の展示会を通して戦前の沖繩を走っていた沖繩県鉄道と、その運行を担った鉄道マンに少しでも興味を持っていただけたなら幸いです。また、今回のミニ企画展で

は県内2紙の取材もありました。(沖繩タイムス7月6日掲載、琉球新報7月13日掲載)



(上) ミニ企画展 全景
(左) 知念氏の卒業証書と辞令書

てらこやEKISHA

「みんなで学ぶ 与那原の戦争」開催

7月22日(土)、てらこやEKISHA「みんなで学ぶ与那原の戦争」を開催しました。今回の講師は稲嶺航氏(元与那原町史編集事務局)です。

2023 月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)



モニターに戦中の写真を映す稲嶺氏

沖繩戦全体について知る機会があっても、意外に知ることの少ない地元の戦争。それを参加者へ問いかける対話型の講座となりました。子どもたちと一緒に戦争とは何か考えるきっかけとなりました。今後も与那原を学ぶきっかけづくりをしていきたいと思っています。

トイレールひろば情報

8月11日(金/山の日)から13日(日)まで、駅舎内にトイレール(鉄道おもちゃ)で自由に遊べるコーナーを設けます。お子さまと一緒にぜひ遊びにいらしてください。

駅舎コラム③

名所旧跡の最寄駅

観光地として知られる沖繩。実はその歴史は戦前から始まっています。

戦前の観光客は沖繩のどこを訪れたのでしょうか。当時の観光パンフレットには首里城や円覚寺、波上宮、糸満町(漁村見学)などが掲載されています。歴史文化をたどる旅や名所旧跡めぐりが主流だったようです。

興味深いのはアクセス方法

ミニ企画展情報

1930年代の沖繩観光

【期間】7月19日(水) ~ 9月19日(月)

【内容】1930年代の沖繩観光パンフから当時の観光を探ります。

既刊記事の訂正

与那原駅舎新聞第1号の4段目と5段目を以下の通り訂正してお詫びいたします。

- (正) 出札係や総務係として鉄道マンとしてのキャリアを積み、その後半には国場駅長の辞令が下ります。その後、桑江駅長、運輸係を歴任。
- (誤) 庶務係や運輸係など人事異動をしながら鉄道マンとしてのキャリアを積み、勤続20年を過ぎたころに桑江駅長の辞令が下ります。その後、国場駅長、運輸係主任を歴任。
- (正) 2016年(平成28)に与那原町へ寄贈されました。
- (誤) 2015年(平成27)に与那原町へ寄贈されました。



与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖繩にあった沖繩県鉄道(沖繩県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖繩県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
https://www.yonabaruekisha.com/

@yonabaru_station @keibin_yonabaru

に県鉄の駅が登場することで。例えば識名園は一日橋駅が最寄り、普天満宮は大山駅から小1里(3.9km弱)、南山城跡は兼城駅から5町(約550m)などと記されています。中城城跡に関しては与那原駅で下車、自動車に乗り換えると案内されています。戦争で破壊されてしまった県鉄ですが、このようなパンフにある最寄駅の表記を見ると、公共交通機関として観光客にも利用されていた様子うかがえます。(学芸員K)